

平成28年度

国臨協関信支部
神奈川地区会
会報誌
第 6 1 号



平成29年6月発行

会長挨拶

会報誌第61号発行に寄せて

NHO 久里浜医療センター

神奈川地区会会長 佐藤 紀之

暑さが日ごとに増してまいりましたが、神奈川地区会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。4月より稲葉会長より引き継ぎました久里浜医療センターの佐藤でございます。4月の人事異動により東京・山梨地区会から神奈川地区会に入会いたしました。私と同じように昇任や配置換え、そして新たに採用されましたフレッシュな会員の皆様とは年齢の違いはあるものの地区会の同期生です。楽しく盛り上げていきたいと思えます。

さて、今年度のレクリエーション活動としては6月17日(土)に揚州飯店にて中華まん&餃子作り体験と中華街での親睦会を企画いたしました。会員皆様の参加を心よりお待ちしております。また、9月には国臨協関信支部学会での「地区会紹介コーナー」への参加、10月7日(土)に地区会総会・学術研修会を開催する予定になっております。これらは会員相互の親睦を深めコミュニケーションの能力を高める事と、これからは日常業務に役に立つ情報を会員同士で共有する事が大事であると考えております。各施設事情によりお忙しいと存じ上げますが、役員一同力を合わせ少しでも会員皆様に喜んでいただける会にしようと努力してまいりますので、皆様も積極的に参加いただきますようご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



新会員の挨拶

NHO 相模原病院

『自己紹介』

相模原病院 齋藤 広樹

平成 29 年 4 月 1 日より国際医療研究センター国府台病院より配置換えでまいりました齋藤広樹と申します。平成 6 年に国立療養所東京病院で賃金職員採用、国立霞ヶ浦病院（平成 16 年に独立行政法人化で NHO 霞ヶ浦医療センター）で正職員となりました。霞ヶ浦医療センターで 13 年間を過ごし、国際医療研究センター国府台病院で主任となり 6 年間お世話になりました。現在は千葉県松戸市に自宅があり、常磐線直通千代田線から小田急線に乗り換え相模原へ通っています。出身は神奈川県川崎市宮前区で高校は小田急線沿いにありました。30 年近く経ちますが通勤電車から見る景色が当時と変わっていないところもあり、懐かしく思っています。

自宅がある千葉県松戸市は神奈川地区会会員の皆様から見ると馴染みが薄いと思いますので少し紹介させていただきます。松戸市は人口が約 48 万人で千葉県内では 2017 年 4 月の統計では 4 番目に人口の多い市ですが認知度はとても低いです。JR 常磐線沿線で隣の柏市は聞いたこともある方もいると思いますが、松戸市の有名スポットで検索しても「矢切の渡し」くらいしか出てきません。しかし、江戸川を挟んで東京都に隣接しており、なかでも松戸駅は千葉県の中で拠点となっている駅のひとつで、都心へのアクセスが良く通勤しやすい場所です。

相模原病院に勤務して 1 か月が過ぎようとしていますが、能力が足らず、まだ右も左もわからない状態で業務を行っている状態です。

林技師長や竹内副技師長をはじめとして担当部署の方々に指導してもらいつつ、まずは自分にできることから職務を果たしていきたいと思っております。神奈川地区会ではできる限り活動に参加し、少しでも本地区会を盛り上げるようお手伝いしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



『自己紹介』

主任臨床検査技師 田中 暁人

平成 29 年 4 月より高崎総合医療センターより相模原病院へ配置換えとなりました、田中暁人と申します。

これまでは、埼玉病院→千葉東病院→高崎総合医療センター→相模原病院と異動しておりますので、初めての神奈川地区会となります。神奈川地区会の皆さまには、神奈川のことをいろいろ教えていただきたいと思います。

私の名前を見ても顔は想像できない方が多いとは思いますが、学会等で時々うろうろしている、とんでもなく背が高いアイツです。みなさん思いあたりましたか？一応、【自称】日本一背の高い臨床検査技師（日本一の臨床検査技師??）ということでいつも自己紹介をさせていただいております。実際の身長については、皆さまにお会いした時にぜひ聞いてください。そこから、お話しさせていただいて仲良くなりたいと思います。

自宅は埼玉県の大宮にあり、毎日 2 時間の通勤をしております。高崎へは、新幹線通勤でしたので優雅な通勤でした（お金はかかりますが・・・）。相模原へは激混みの高崎線で新宿へ、ここからは小田急線で小田急相模原という経路です。初日よりあやうく江の島へ行きそうになったり、帰りは我孫子へ行ってしまうそうになったりしております。

相模原病院での仕事も、まだまだ分からないことがたくさんあり、多くの方に助けていただいております。早く自分の職責を果たせるよう努力してまいります。

近く、地区会レクリエーションも開催されると聞いておりますので、その際は神奈川地区会の皆さまと交流を深めていきたいと思います。今後とも、温かいご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



『自己紹介』

臨床検査技師 臺 あさみ

神奈川地区会に新たに会員となりました。相模原病院の臺あさみと申します。
臺は台の旧漢字でして訓読みで「うてな」と読みます。珍しい名字ですので是非覚えてください。

私は、昨年度まで成育医療研究センターに4年間勤めておりまして、この度異動で相模原病院に参りました。

成育では、生理検査を担当しておりましたので、生まれたばかりの赤ちゃんの心電図をとったりしていたのですが、先日は相模原病院で大正生まれの91歳のおじいさんの心電図をとりまして、ギャップがすごいなと感じました。同じ検査ですが、心電図検査1つをとってもこんなに患者さんの対応や心電図波形が違うのかと毎日勉強になることばかりです。

趣味のお話をさせていただきますと、旅行が好きです。海外旅行も一人で行ってしまいます。ここ数年では、高校のときにホームステイで行ったニュージーランドに行き、お世話になった家族と再会したり、フィリピンに行きバンブーダンスを踊ったり、台湾に行って小籠包を食べたりしました。どこかおすすめの旅行先がありましたら教えてください。

現在、相模原病院では午前は生理検査を午後は検体検査を行っています。私は要領が悪く、慌てやすいところがあります。新しいことなど覚えなければならないこともたくさんありますが、焦らずに確実に覚えていき、少しでも早く戦力になれるよう努力して参りたいと思います。また、神奈川地区会会員として、これから多くの活動に参加していきたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

社会人としても臨床検査技師としてもまだまだ未熟ですが、諸先輩方の指導を受けながら、認定試験や学会発表などいろいろなことに挑戦していきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。



『自己紹介』

臨床検査技師 小川 桃世

平成 28 年 7 月 1 日付で相模原病院に常勤採用されました、小川桃世と申します。

去年の 4 月に入職してから 6 月までがんセンター中央病院に勤務しておりましたが、この度異動となり相模原にまいりました。相模原病院では生理検査室に配属され、不安もありましたが、主任や先輩方がやさしく丁寧に指導してくださるおかげで早く慣れることができました。

正職員となって当直業務にも携わるようになりましたが、こちらはいまだに慣れません。元々徹夜はしないタイプだったので、夜はつらいのですが、普段と違う業務ができるというのはメリハリがついて良いかもしれません。当直明けの帰りに最寄りの小田急相模原駅周辺でご飯屋さんを探してみるのですが、最近のお気に入りにはぼしラーメンです。

最近の趣味は神社・お寺巡りで、まずは都内から観光もかねて（生まれ育ったのも都内なのですが・・・）御朱印帳を持って散策しています。歴史小説を読むのも好きで、戦国時代に関心があります。渋くなってしまいましたが、なぜだか私は古いものに惹かれてしまうようです。

あっという間に社会人 2 年目となりましたが、日々の業務ひとつひとつに丁寧に取り組み、また患者さんに対して真摯に向き合っていきたいと思っています。ご迷惑をかけてしまうことも多々あるかと思いますが、変わらぬご指導をよろしくお願いします。



『自己紹介』

臨床検査技師 小林 大暉

この度、4月1日付で、相模原病院に常勤職員として採用になりました、小林大暉と申します。名前の「暉」という字はあまり使われることがないらしく、名簿作成などをする際に漢字変換でなかなか出てこないと言われます。読み方は「だいき」と読み、最近では若手イケメン俳優の菅田 将暉（すだ まさき）が同じ漢字ですので、以前よりは市民権を得たのではないかと思っております。

出身地は長野県の佐久市という所です。特に何の特徴もない田舎なのですが、強いて言えば駅伝の強い佐久長聖高校があります。箱根駅伝に出場する選手の中にも佐久長聖高校の出身者が多くいるので聞いたことがある方がいるでしょうか。高校生まで地元で暮らし、大学進学の際に都内に引っ越してきました。

一昨年に大学を卒業し、昨年はがん研究センター中央病院で1年間非常勤職員をしておりました。主に輸血業務を担当しており、採血業務も行っていました。相模原病院では病理検査に配属となりました。がん研究センター中央病院にいた時の業務とは何から何まで異なりますが、先輩方のご指導を受け、精一杯頑張っております。

趣味は一応、オートバイでツーリングをすることなのですが、昨年故障してしまった際に手放したため、お休み中です。ということで、今はネットを眺めたり、通りかかったバイクショップに立ち寄りしたりしながら、いろいろと画策している最中です。

社会人としても臨床検査技師としてもまだまだですが、諸先輩方の指導を受けながら、粘り強く頑張っていきたいと思っております。神奈川地区会の行事にも積極的に参加させていただきますので、ぜひご指導のほどよろしくお願い致します。



NHO 横浜医療センター

『自己紹介』

副臨床検査技師長 武山 茂

4月1日付けで横浜医療センターへ参りました武山と申します。

神奈川地区会には12年ぶりの復帰となります。

実は神奈川は地元でもあり、卒後入職してから2施設（国立横浜東病院、国立相模原病院）で14年間勤務したことから神奈川地区会とは縁を感じております。

この1ヶ月で感じたことは、横浜医療センターは若いスタッフが多く明るく活気のある検査科で、よき上司よきスタッフに囲まれ毎日新鮮な気持ちで業務に取り組んでおります。

技師長補佐、管理業務、検査全般、特に当直業務と覚えることはたくさんありますが、一日も早く横浜医療センターの一員として貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。

神奈川地区会の皆様、今後ともよろしくお願い致します。

『自己紹介』

主任臨床検査技師 加藤 誠

平成29年4月1日付でNHO災害医療センターより配置換えとなり、国立横須賀病院勤務時以来15年ぶりに神奈川地区会に舞い戻ってまいりました。

タイトルが「自己紹介」とのことですので少し自分について記させていただきます。

生まれは北海道で家の周りは畑だらけでした。10歳の時に父親の仕事の都合で神奈川県に移住し、以来神奈川県民です。あっ、千葉県民の時も少しありました。

臨床検査技師としての始まりは国立横浜病院でした。当時は国立の施設でもレクリエーションが行われており、野球やバレーボールなどに参加しておりました。もともと運動は嫌いではないので冬はスキーに行ったり、バブル期にはゴルフをかじったこともありました。

しかし、最近はサッパリで運動不足です。気持ちに体がついてこない今となっては丁度良いのかもしれません。

現在の楽しみと言えば数年前から再び乗り始めたバイクくらいです。なかなか長距離を走る時間は取れませんが、若いころを思い出しながら近場で楽しんでいます。

こんな人間ですが神奈川地区会会員の皆様どうぞよろしくお願い致します。

『自己紹介』

主任臨床検査技師 濱田 大輔

4月1日付けで西埼玉中央病院より異動してまいりました、濱田大輔と申します。神奈川県地区会で挨拶をさせていただくのは、今回で3度目となります。

4年ぶりに横浜医療センターへ戻ってきたということもあり、検査科内では転勤者という扱いではなく、初日から何もなかったかのように検査業務をはじめましたが、自分のイメージと合わずに、うまくいかない部分が多々あり、全然思った通りに動けていない状況です。業務でうまくいかないストレスはありますが、一緒に勤務していたスタッフが多く残っているので、検査科内の雰囲気に慣れなければいけないということがないので、かなり助かっています。

横浜医療センター在籍時の4年前までバスケットボールをやっていました。今回異動してきて、またバスケットボールか何か体を動かすことが出来ればと思っています。

神奈川県地区会の皆様とは総会、レクリエーション等でお会いすると思いますが、その時はどうぞよろしくお願い致します。



『自己紹介』

主任臨床検査技師 内海 雅文

平成 29 年 4 月 1 日付で NHO 栃木医療センターより配置替となりました、内海 雅文と申します。どうぞよろしくお願い致します。勤務地は 2 施設目と初めての転勤です。神奈川には、大学時代は相模原に、大学院時代は、横浜の金沢八景に住んでいました。初めて神奈川地区会員となりますので、まず簡単な自己紹介から、出身地は広島県福山市です。福山といえば、ドラマや旅番組でお馴染みの鞆の浦（とものうら）が有名です。他にも、福山城やバラ公園等があり、これらの場所には、昔、親が美術をやっていた影響もあり、写生大会などのコンクールで絵を描きに行っていました。福山と隣接した市では、尾道がありますので、尾道に行く際に新幹線の乗り換えで降りたことがあるという方もいらっしゃるかもしれません。趣味は、小・中・高・大・大学院・社会人と約 20 年続けてきた野球です。横浜に来てからインターネットでチームを探し、いいチームを見つけたので早速週末は野球で汗を流しています。野球以外にも、昨年一眼レフカメラを購入したこともあり、カメラ片手に出かけて、風景等の写真を撮っています。伊豆や熱海等、観光地が近くなったこともあり、野球のない週末はカメラ片手に出かけようと考えています。仕事に関しましては、施設内の雰囲気になんて慣れてきましたが、主任として最初の施設でもあり、右も左も分からないため、検査科の方々にアドバイスをいただくなど、助けられながら業務を行っています。少しでも早く、職務を遂行できるよう、検査科に貢献できるように努力していきたいと考えております。また、神奈川地区会の方々におかれましても、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



『自己紹介』

臨床検査技師 新本 恵理香

4月1日より横浜医療センターに採用となりました新本（あらもと）恵理香と申します。出身は横浜市金沢区です。自宅の近くに海があり、船の音や横浜八景島シーパラダイスの花火のあがる音も聞こえます。残念ながら、家から花火を見ることは出来ません。

以前は国立病院機構本部で非常勤職員として臨床研究に携わっておりました。業務内容は集めたデータの確認や新しく研究を始める医師の補助等、主にパソコンでの仕事でした。

これまで東京に通学・通勤していたので、地元の神奈川県で働くことができとても嬉しく思います。現在の通勤時間は1時間ほどのため、運動不足解消のためにも何か新しく習い事を始めたいと考えています。

私の趣味は旅行に行くことで、観光や地方にしかない美味しいものを食べに行くのが好きです。いつかはヨーロッパなどの海外へ旅行に行くことが出来たらと思います。

現在、輸血検査を担当しており、少しずつではありますが出来ることが増えて嬉しく感じると同時に、初めての現場で検体を扱う責任ある業務に緊張を感じております。この緊張感を忘れずに、一日でも早く仕事を覚えられるよう精進し、臨床検査技師として様々な場合にも対応できるようになりたいと思います。慣れない業務でご迷惑をお掛けすることも多くあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



NHO 神奈川病院

『自己紹介』

臨床検査技師長 児玉 徳志

4月1日付で霞ヶ浦医療センターから配置換えで参りました臨床検査技師長の児玉と申します。

全施設の霞ヶ浦医療センターは土浦市にあり、中心を流れる桜川沿いに咲く桜並木はお散歩やサイクリングをしながら楽しめるお花見スポットとして有名ですが、神奈川病院玄関前の桜も素晴らしく驚いているところです。また、霞ヶ浦の屋形船霞月丸（料亭霞月楼経営）からの土浦市の夜景は、横浜港の夜景と比べるとやや劣りますが、それなりの絶景スポットとなっています。霞月楼には特攻隊員となった海軍士官の方々が最後の宴に際し、屏風に書いた寄せ書き（落書き）があり、歴史を感じさせる「お店の財産」となっています。興味のある方は土浦まで足をお運びください。

住まいは藤沢なのですが、神奈川地区会に席を置くのは、平成9～11年にお世話になった横浜病院以来20年ぶりとなります。その後の異動は、国立がんセンター・長野病院（単身赴任）・精神神経センター・霞ヶ浦医療センターと長距離通勤を経て、ようやく県内の施設に戻ることができました。上り電車から解放されて「ホッ！」としているところです。休みの日は湘南海岸をジョグしている湘南オジサンです。

これからは検査科スタッフと力を合わせて、神奈川地区会ために貢献して行きたと思います。よろしく願いいたします。



NHO 久里浜医療センター

『久里浜医療センターに赴任して』

臨床検査技師長 佐藤 紀之

4月1日付けで東京医療センターから久里浜医療センターに昇任として着任いたしました、佐藤紀之です。よろしくお願いいたします。

国立東京第二病院で採用され、その後災害医療センター・東埼玉病院・東京医療センター・久里浜医療センターと5施設目になります。神奈川地区会はもちろん初めてです。会員交流のイベント（レクリエーション）や総会、研修会を楽しみにしております。今回神奈川地区会会長を引き継ぐことになりましたが、何分初めての役職なので、会員皆様のご協力を賜り理事一同楽しい地区会を目指して行きたいと思います。

久里浜医療センターの目の前は海、ロケーションとしては最高です。大きな貨物船やタンカー、釣り船が目の前を行き来しています。天気の良い日は房総半島も望見できます。検査科の職員は6名ですが、チームワークでは大きな施設に負けないくらい強い絆で結ばれております（個人的な感想）。これからは検査科スタッフのため、施設のため努力してまいりたいと思います。地区会につきましては、これからも引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



NHO 箱根病院

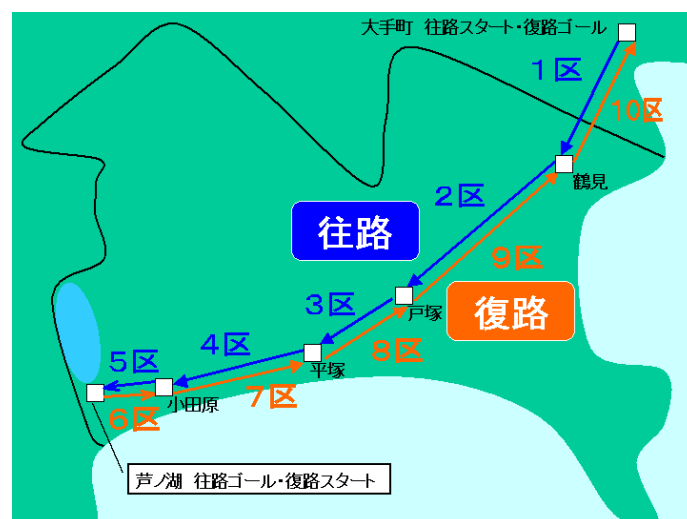
『初めまして』

臨床検査技師長 瀬下明子

4月1日付けで長野病院より参りました瀬下明子です。(せじもと読みます。読めませんよね)。

出身は長野県長野市です。最初の就職は東長野病院で実家から通勤していました。当時は心臓血管外科があり手術室の業務と大量の輸血検査に迫られる毎日でしたが勉強より遊びに熱心でした。霞ヶ浦病院に異動となり、それまで関わった事のなかった病理検査と出会い、病理や臨床の先生方とのディスカッションが楽しくて一緒に話のできるレベルになりたいと思い細胞検査士を取得しました。中でも特有の周期変化を伴う子宮内膜細胞診を克服したく、この分野追求をテーマに学び始めたところ東京病院に異動となりました。呼吸器の専門病院で新たに様々な呼吸器症例と出会うことができましたが、3ヶ月程で細菌室にローテーションとなりました。ほぼ経験したことのない細菌業務はなかなか慣れず向いてないと思う日々でしたが、大規模な結核病棟があったため抗酸菌検査の最先端を学べました。そして18年半ぶりに東長野病院に戻りましたが重心病棟を中心とした病院に変貌していました。しかし重心とひとくくりにはできない、その患者なりの向き合い方があるのだと検査の可能性再発見でした。また久しぶりの実家からの通勤で家族の有り難みに感謝し、改めて長野って良いところだなと自然や温泉、観光地巡りを楽しみました。久々の通勤でウォーキングに励み運動不足も解消されました。

神奈川は初めての土地です。箱根って聞いてまず思い浮かんだのは箱根駅伝です。私は毎年欠かさずテレビ観戦している大ファンなのでここが山の神の中継地点かと病院前の国道から山を見上げて一人浮かれていました。神奈川も観光地が多いのでこれから訪れるのが楽しみです。海もあるので海なし県の私はウキウキしてしまいます。オススメの良い所ありましたら教えてください。神奈川地区会の皆様どうぞよろしくお願いします。



平成 27 年度 第 35 回国臨協関信支部神奈川地区会定期総会 議事録（要旨）

日 時：平成 28 年 10 月 8（土） 15：50～16：30

場 所：あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）1F 会議室

出席者：神奈川地区会員 34 名、林臨床検査専門職、峰岸関信支部支部長

1. 開会の辞 山田事務局長
2. 会長挨拶 日吾会長
3. 来賓挨拶 峰岸関信支部支部長
4. 議長選出 國仲 伸男（横浜医療センター 副技師長）氏を選出
5. 書記任命
國仲議長より鈴木 芳明（相模原病院）氏、高橋 千尋（横浜医療センター）氏を任命
6. 議事
 - 1) 平成 27 年度 経過報告
総会資料を基に山田事務局長より報告
 - 2) 平成 27 年度 会計報告
東澤会計理事より報告
 - 3) 平成 27 年度 会計監査報告
金子会計監査より報告
・ 1) から 3) まで審議を行い、出席者の過半数の賛同により承認された。
7. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 28 年度事業方針案
総会資料を基に山田事務局長から提案
 - 2) 第 2 号議案 平成 28 年度予算案
総会資料を基に東澤会計理事から提案
・ 1)、2) について審議を行い、出席者の過半数の賛同により承認された。
 - 3) その他
議案審議なし
 - 4) 日吾会長より
今回の関信支部学会に提出したポスターのサイズが、規定のサイズよりも大きく、減点された。次年度は気を付けていただきたい。

8. 平成 28 年度役員選出

会長	稲葉 孝	(久里浜医療センター)
事務局長	金子 勇	(神奈川病院)
理事	久保 順一	(箱根病院)
理事	鈴木 芳明	(相模原病院)
理事	三五 朋子	(相模原病院)
理事	安田 秀平	(横浜医療センター)
理事	高橋 千尋	(横浜医療センター)
会計監査	竹内 智明	(相模原病院)

・審議を行い、出席者の過半数の賛同により承認された。

9. 議長・書記の解任

10. 閉会の辞 山田事務局長

国臨協関信支部神奈川地区会会則

平成 6 年 3 月 5 日施行

平成 17 年 2 月 26 日 一部改訂

平成 20 年 3 月 1 日 一部改訂

平成 21 年 3 月 7 日 一部改訂

平成 22 年 10 月 30 日一部改訂

平成 24 年 4 月 1 日 一部改訂

平成 27 年 11 月 14 日一部改訂

(名称)

第 1 条 この会は、国臨協関信支部神奈川地区会(略称神奈川地区会)という。

(目的)

第 2 条 この会は、研究・学術ならびに知識の向上さらに施設相互の交流、会員相互の親睦等を図ることを目的とする。

(事業)

第 3 条 この会は、前条の目的達成のために、必要な事業を行う。

(事務所)

第 4 条 この会の事務局は、事務局長の担当施設に置く。

(単位)

第 5 条 この会は、国臨協関信支部と提携し、各施設毎に単位を置く。

(会員)

第 6 条 この会の会員は、神奈川県にある独立行政法人国立病院機構の病院ならびにセンターに勤務する検査科の職員とする。

(役員)

第 7 条 この会に、次の役員を置く。

会長 1 名、事務局 1 名、会計 1 名、理事若干名、会計監査 1 名。

(職務)

第 8 条 役員の職務は次の通りとする。

(1)会長は、この会を代表し会務を総括する。

(2)事務局は、本会の会務を司る。

(3)会計は、本会の会計を担当する。

(4)理事は、各会務を担当する。

(5)会計監査は、本会会計を監査し総会に報告する。

(役員の選出)

第9条 役員の選出は次の通りとする。

- (1) この会の会長は、総会で承認することにより定める。
- (2) この会の理事は、各単位毎に選出し総会で承認する。
- (3) この会の事務局・会計は、理事会で互選する。
- (4) この会の会計監査は、次期総会担当施設が行う。

ただし、会計と会計監査が同施設の場合は理事会の協議により変更することができる。

(役員の任期)

第10条 役員の任期は、1ヵ年とするも再選を妨げない。

(役員の補充)

第11条

- (1) 会長が任期途中で転勤、病気等で辞任した場合は、理事会で選任し次期総会で報告する。
- (2) 会長以外の役員が任期途中で転勤・病気等で辞任した場合、該当施設は速やかに後任者を選出しなければならない。

(会議)

第12条 この会は、次の会議を開催する。

- (1) 総会は、年1回開催し当日参集の会員をもって構成する。
- (2) 理事会は、会長、事務局長、会計、理事をもって構成する。

(会計)

第13条

- (1) この会の会計は、会員の会費等を以ってあたる。
- (2) この会の会費は、1年間1人500円とし、各単位毎に第1回理事会までに納入するものとする。すでに納入した会費、その他拠出金は返還しない。
- (3) この会の会計は、総会において会計報告及び会計検査報告をする。
- (4) この会の会計年度は、10月1日より翌年の9月30日迄とする。

(旅費規程)

第14条

- (1) この会の旅費は、交通費（普通車実費）とする。
- (2) 行動費として500円支給する。

(付則)

- (1) この会の会則は、総会の了承を得られなければ改廃することが出来ない。
- (2) この会則は、平成22年11月1日から施行する。

(細則)

第1条 会則第12条1項の総会の開催場所は、各単位(施設)で持ち回りとする。
順番は、独立行政法人国立病院機構 神奈川病院、相模原病院、横浜医療センター、久里浜医療センター、箱根病院とする。

ただし、理事会の協議により変更することができる。

第2条 総会時の承認は、当日参集する会員の過半数の賛同をもって成立する。

第3条 次期会長候補は、理事会が推薦する。

理事会は、必要な場合文書等をもって協議することができる。

第4条 大規模施設等(相模原、横浜)からは複数名選出することができる。

神奈川地区会会員名簿

平成29年4月1日現在

●NH0 相模原病院

林 亮
竹内 智明
大矢 良之
中野 和明
屋代 達
鈴木 芳明
齋藤 広樹
川上 正裕
田中 暁人
市川 喜代子
原田 哲也
安田 寿美子
福永 利恵子
安保 伸樹
藤原 由貴乃
福富 健司
中江 真莉子
幡野 廣樹
臺 あさみ
吉田 陽子
鹿毛 亮祐
錦織 春菜
北浦 優紀
田中 敬涼
水永 ちひろ
小川 桃世
小林 大暉

●NH0 横浜医療センター

日吾 雅宜
小沼 進吉
武山 茂
小林 正弘
加藤 誠
長井 俊道
播井 美由紀
古賀 裕
濱田 大輔
内海 雅文
野中 照美
佐久間 みゆき
大畑 真利
山口 有希
畠山 奈帆子
高橋 千尋
松島 麻衣子
李 平淑
井田 貴明
安田 秀平
下平 華奈子
中野 里美
新本 恵理香

●NHO 神奈川病院

児玉 徳志
金子 勇
立川 恵子
山田 貴正
山崎 直樹
東澤 恭介
中井 敦子
加山 新菜

●NHO 久里浜医療センター

佐藤 紀之
山田 大助
竹内 智也
原 幸子
杉原 理恵
近藤 南
齋藤 ひとみ

●NHO 箱根病院

瀬下 明子
久保 順一

神奈川地区会会報誌 第61号
発行日 平成29年 6月 14日

発行：佐藤 紀之
編集：金子 勇
久保 順一
鈴木 芳明
安田 秀平
高橋 千尋